

SERIES

市町村体育協会だより₁

社団法人盛岡市体育協会

当協会は‘太平洋戦争の敗戦によって失われていた市民の活力をスポーツによって取り戻そう’と、市内のスポーツ愛好者が集い、県下の先駆けとして、昭和21年に市民の自主的スポーツ団体「盛岡市体育会」として発足しました。現在では、47の団体を傘下に‘盛岡市における体育・スポーツの一層の振興をはかり、市民体力の向上とスポーツ精神の涵養に資するとともに、盛岡市における体育諸団体の育成に寄与する’ことを目的とし様々な事業を行なっております。

「一楽しくスポーツを一だれでも どこでもいつまでも」のスローガンのもと、市民が気軽にスポーツに親しむことのできる機会と環境を提供し、市民スポーツ・生涯スポーツの普及と振興を目指し、20施設の指定管理者として、利用者サービスに努めています。また、20年度は各種スポーツ教室・大会等81事業を開催し、キッズから高齢者まで、5万3千人余りの市民が参加しました。今後も市民スポーツ・生涯スポーツの底辺拡大を図っていききたいと思います。



昭和24年に「市民体育祭」として開催された大会は現在「盛岡市民体育大会」と名称を変え、平成20年度・第60回大会は、38競技に1万8千人余りが参加し開催されました。4・5月を中心に開催されるこの大会は、各競技のシーズン幕開けの大会として位置づけられています。

12月1日に開催される「盛岡市スポーツ人の集い」では、盛岡市のスポーツの振興に貢献した方々を表彰し、市民のスポーツに対する気運を盛り上げ、また、市内のスポーツ関係者の交流、情報交換の場となっています。

少子高齢化は盛岡市も例外ではありませんが、その中でスポーツ少年団活動は活性化の傾向にあり、20年度の登録は156団、団員3,926名、指導者647名で団数及び団員数は過去最高でありました。その指導者、団員の質の向上を目指し指導者研修会、リーダーキャンプを開催しているほか、各団の交流の場として綱引き大会を開催しています。また、次世代を担う子ども達の体力、運動能力向上を目的としたプランも計画されてお

り、2016岩手国体での活躍が期待されます。

指定管理者制度導入や法人を取り巻く環境が変化する中ではありますが、協会の設立目的を忘れることなく、責務を着実に果たすべく事業を推進してまいりたいと思います。